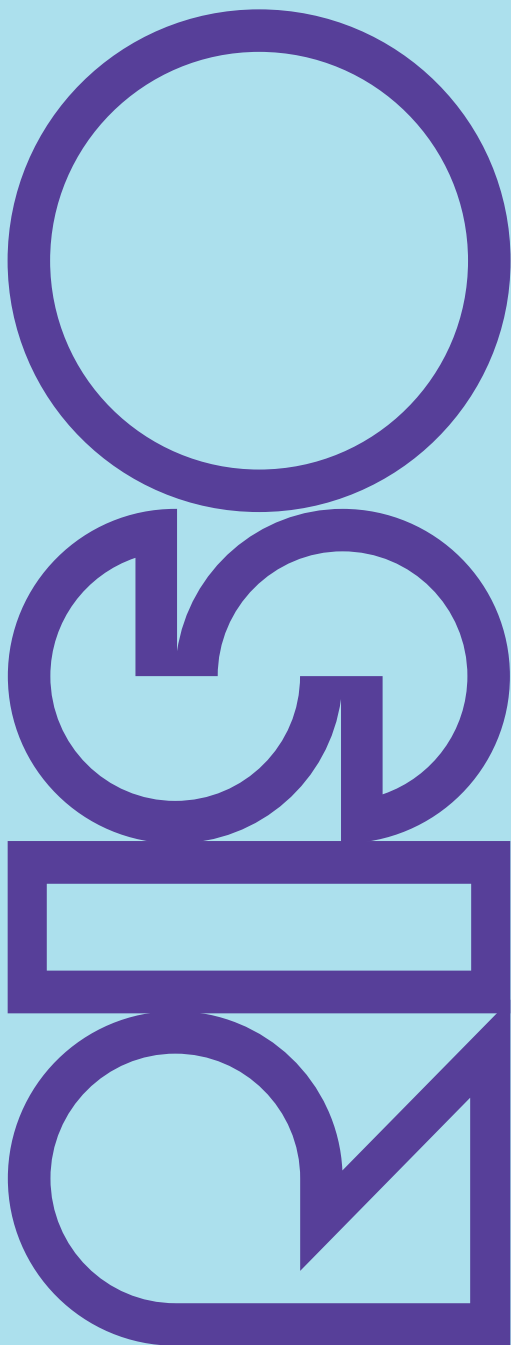


平成16年3月期事業報告書

平成15年4月1日～平成16年3月31日

 理想科学工業株式会社

RISO
REPORT
2004



株主・投資家の皆様へ

株主・投資家の皆様には、日頃から格別のご支援ならびにご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに当社平成16年3月期事業報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

中期経営計画 (NEW RISO 21) の最終年度にあたる平成16年3月期は、売上高は当初の計画を下回ったものの3期連続の増収となり、また売上高営業利益率も10.0%へと向上しました。配当金につきましては1株当たり60円 (前期55円) といたしました。

さて、当社では、新たに平成19年 (2007年) 3月までの中期経営計画 (Riso Vision 07) を策定いたしました。(P2参照) コアビジネスである「孔版事業」による収益拡大に加え、新規事業「インクジェット事業」による成長基盤の確立を図ります。同時に高い顧客満足度の実現、法令遵守の徹底、ISO14001を中心とした環境マネジメント体制の維持など企業の社会的責任の実行に取り組んでまいります。

株主・投資家の皆様におかれましては、何卒いっそうのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



平成16年6月

代表取締役社長

羽山 明

中期経営計画 Riso Vision 07

当社グループは、コアビジネスである『孔版事業』による収益拡大に加え新規事業『インクジェット事業』による成長基盤の確立を図るため、新たに3ヵ年の中期経営計画「Riso Vision 07」を策定しました。中期経営計画の基本方針は以下の通りです。

1. 新規商品開発の加速と
開発体制の強化・充実

2. 孔版事業の更なる拡大への挑戦

3. 新規インクジェット事業の確立

4. 低コスト・在庫圧縮を実現する
生産物流体制の構築

5. 将来の発展を牽引する
人材開発の実施

6. 法令の遵守及び
環境に配慮した企業運営

活動計画

● 開発部門 ●

新規商品開発の推進
コンカレントエンジニアリングの強化

● 営業部門（国内・海外） ●

コアビジネスの強化
「ORPHIS HC5000」による新市場創造

● 製造部門 ●

海外生産体制の強化
在庫の大幅な圧縮への挑戦

● 本社部門 ●

人材育成
コンプライアンスの徹底

1. 連結売上高 1,000億円 2. 連結売上高営業利益率 10% を目指す

コアビジネスの強化と 新規事業の推進による 収益拡大への挑戦。

今期(平成17年3月期)は、中期経営計画「Riso Vision 07」のスタートの年であると同時に、新体制の第2フェーズでもあります。新たな段階を迎え一層の飛躍をめざす羽山社長に、今後の事業方針や製品展開などについて聞きました。



代表取締役社長 羽山 明

Q: 平成16年3月期は3ヵ年中期経営計画「NEW RISO 21」の最終年度でした。その3ヵ年を振り返ってください。

A: NEW RISO 21は、私が社長に就任して2年目に策定した中期経営計画です。収益の早期回復と経営基盤の強化を図るとともに、新体制の方向性を明確にするという意味で非常に重要な役割を持っていました。基本方針は、「開発・製造部門の効率化とコストダウンの徹底」「内外営業の収益安定強化」「新規商品開発およびサービス事業開発の推進」「海外生産の積極展開」「無駄のない筋肉質の企業への変換」の5つ。これらをテーマとし、グループ一丸となって、あらゆる角度から事業活動に取り組んできました。

その結果、3期連続の増収、営業利益も3期連続の増益を実現することができました。目標

である売上高営業利益率10%は達成することができました。しかし、連結ROEは3.1%から5.8%に向上しましたが、目標としておりました8%は達成することができませんでした。

Q: 重点テーマであった「開発・製造部門の効率化とコストダウンの徹底」「新規商品開発およびサービス事業開発の推進」のポイントや成果についてお聞かせください。

A: 開発・製造部門では、コンカレントエンジニアリングの手法を導入し、開発の初期段階から開発・設計・生産技術・製造の各部門が一体となって、開発期間の短縮や問題解決の早期化を図ってきました。これにより、開発・製造の効率化とコストダウンが図れたと同時に、各部門の技術力もかなり上げることができたと思います。

新規製品についても、オリンパス株式会社と共同開発した高速フルカラープリンターをはじめ、次世代のプリントゴッコやA4専用簡易紙折機、ブライダルマーケット向けWebサービスなど、今期に向けて多くの新製品・新サービスを市場に送り出すことができました。いずれの製品・サービスも、これまでになかったものであり、今後の成長を大いに期待しています。



次世代のプリントゴッコ
「プリントゴッコ」jet V-10

Q: なかでも、昨年10月に発表された高速フルカラープリンター「ORPHIS HC5000」が大きな注目を集めています。この製品はどんな特徴を持っているのでしょうか。製品戦略上どのような位置づけにあるのでしょうか。

A: 「ORPHIS HC5000」は、世界最速の毎分105枚*1のスピードでフルカラー印刷できる画期的なビジネスプリンターです。ランニングコストも1枚当たり2.5円*2と安く、コスト競争力のある製品です。

昨年12月から東京・大阪・名古屋で地域限定販売を始め、各方面から高いご評価をいただいています。国内はこの6月から全国販売を開始しました。海外は下期に販売開始の予定です。

今後、この「ORPHIS HC5000」を大きな商品に育て、リソグラフとともに当社事業の2本柱にしていきたいと思っています。

*1：A4判横送り、標準設定連続印刷時

*2：A4判各色5%（シアン/マゼンタ/イエロー/ブラック）、解像度標準設定時、用紙代別

Q: 中期経営計画についてお話しいただけますか。

A: 今期から平成19年3月期までの中期経営計画「Riso Vision 07」では、連結売上高1,000億円、売上高営業利益率10%をめざします。この売上高1,000億円は、従来の孔版印刷ビジネスを堅調に成長させると同時に、新規事業を確立することにより達成可能です。ぜひ実現したいと思っています。

Q: それを実現するための重点課題は何でしょうか。

A: まず、開発力の強化です。インクジェットプリンター技術の導入によって、開発テーマが大幅に増えたこともあり、より一層開発力を高めていかなければなりません。必要に応じ、積極的に



高速フルカラープリンター
「ORPHIS HC5000」

人的・物的両面から投資をしていきたいと考えています。

また、製造の強化も重点課題のひとつです。過去3年間は主に中国に生産移転することによってコストダウンを図ってきました。これからは更なるコストダウンのため、もう1ランク上の製造技術力をつけることにも注力いたします。

販売面についても、コアビジネスにおける優位性を確保することはもちろん、販売チャネルの一層の強化・拡大を図っていく考えです。

Q: 新製品を開発する上で欠かせないキーワードは何でしょうか。

A: 「顧客志向」です。ただし、顧客志向とは、単にお客様のニーズを反映させるにとどまりません。お客様も気づいていない本当に必要なもの、「ウォンツ」を創出し、提案することです。言い方を変えれば、お客様を満足させるだけではなく、お客様をワクワクさせたり、ビックリさせる、そういうサプライズを提供することです。過去を振り返ってみれば、世の中を変えてきた商品・サービスは皆そうしたサプライズを持っていたと思います。

当社の開発方針である「世界に類のないものを創る」とは、まさにこのウォンツの開発に他なりません。ウォンツの開発には卓越した個人の勉強と努力が必要です。社員一人ひとりが能力を磨き、常にウォンツをご提供できる「ウォンツ創出型企業」でありたいと思います。

Q: コンプライアンス(法令遵守)と環境に配慮した企業経営も基本方針に掲げられていますが、これについてはどのように考えられているのでしょうか。

A: 単に法令遵守というと、規則さえ守っていれば良いという狭い考え方に陥りがちです。しかし、当社は、仕事を進める上では、法令の遵守だけでなく、正義感や倫理に基づいて判断することも必要だと考えます。そうした判断力を持つような社員教育に心がけており、コンプライアンスプログラムづくりを進めています。

また、環境への配慮も経営上大切なことだと考えています。製品の開発・生産から廃棄までトータルに環境負荷の低減をめざしてまいります。

Q: 最後に、株主の皆様メッセージをお願いします。

A: 当社は、株主の皆様のご期待に応えるべく、企業価値の継続的な向上をめざし、事業利益の拡大に努めております。

利益配分については、今後の事業展開に備えた開発投資および販売チャネルの充実を図るとともに、財務体質を強化しつつ、利益水準を考慮した安定配当を実施してまいりたいと考えております。

今後も一層の業績向上と経営体質の強化に努めていく所存です。株主の皆様におかれましては、変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

RISO Ecology Mind

基本はムダをなくすこと

理想科学では、事業そのものの中に環境への配慮がしっかりと根づいています。そして、資源循環思想に基づき、「3つのR」(Reduce:リデュース、Reuse:リユース、Recycle:リサイクル)をキーワードに環境活動を展開しています。

環境負荷の低減に貢献する「RISO SOYインク」

当社は、業界に先駆け、植物性油脂(大豆油)を利用した新インクを開発し、平成13年11月から販売しています。

デジタル孔版印刷機用「RISO SOYインクRP(ブラック)」は、植物性油脂を利用して環境負荷を低減させています。

また、平成16年1月からはデジタル孔版印刷機用のカラーインク「RISO SOYインクカラー」(64色)も市場に送り出しています。いずれのインクも、アメリカ大豆協会(ASA: American Soybean Association)より、ソイシール(CONTAINS SOYOIL)の認定を得ています。

なお、平成16年1月、当社はSOYインクの開発・普及に貢献したとして、ASAより特別功労賞を受賞しています。



RISO SOYインクカラー



アメリカ大豆協会(ASA)から特別功労賞を受ける羽山社長

「エコプロダクツ2003」に出展

当社は、環境保全に関する取り組みを広くご紹介するため、環境総合展示会「エコプロダクツ」に出展しています。

「エコプロダクツ」は、環境商品の普及と環境ビジネスの振興を目的に開催するわが国最大の環境総合展示会です。昨年の「エコプロダクツ2003」は、“地球と私のためのエコスタイルフェア”をテーマに開催され、11万人を越す来場者が訪れました。

当社は、“RISOエコツアー”をテーマに、リサイクル機やリソグラフRE33Pを展示するとともに、環境保全に関する取り組みをクイズ形式などで紹介しました。小学生から大人まで幅広い年代の人が熱心に見学していました。

古紙配合率30%の環境用紙(全12色)を販売

当社は、平成9年より、環境保全に配慮した「理想環境用紙カラー」を販売しています。

理想環境用紙カラーは、再生パルプを使用した古紙配合率30%の高品質再生紙で、木材からパルプを作る際にも無塩素漂白法(ECF)をとり入れています。デジタル孔版印刷機による印刷適性に優れているのはもちろん、PPC用紙(普通紙)としても鮮明な画像が得られます。チラシやリーフレットをはじめ、会議用資料、マニュアル中表紙など幅広い用途に利用できます。

この3月からパステル調の新品3色(さくら色・若草色・レモン色)が追加され、全12色となりました。



理想環境用紙さくら色/若草色/レモン色

「ORPHIS HC5000」発表会を 東京・大阪・名古屋で開催

理想科学は、昨年12月から本年2月にかけて、「ORPHIS HC5000」の発表会を東京・大阪・名古屋で順次開催しました。

「ORPHIS HC5000」は、オリンパス株式会社と共同開発したインクジェット方式による高速フルカラープリンターです。東京・大阪・名古屋の3地区で限定発売し、本年6月より全国での本格販売を開始しています。

一般に公開されるのは初めてとなった東京での発表会は、12月9～10日に有楽町・東京国際フォーラムで開催、2日間で5,000人を超えるお客様にご来場いただきました。

会場正面入口にはメインステージを設け、「ORPHIS HC5000」の特長や多彩な機能を実機と映像を交えてデモンストレーションを行いました。隣接のソリューション別紹介コーナーでは、オフィスでの印刷実例をはじめ、広告・広報・教育・出版・プリントショップといった多様な分野での活用方法をご提案しました。お客様が実際に高速フルカラー印刷を体験できるタッチ&トライコーナーでは、「カラーの印刷物がまさに飛び出してくる感じ。速さを実感した」「コスト高であきらめていたカラー印刷がこれなら手軽に行える」といった声が聞かれました。

大阪では、1月21～22日に理想新大阪ビルにて開催。1,600人を超えるお客様にご来場いただき、東京会場と同様の盛会となりました。また名古屋では、2月9～10



有楽町・東京国際フォーラムで行われた東京会場のデモンストレーションの様子
(平成15年12月)

日、中日パレス・クラウンホールで開催しました。

3会場とも、“カラーをもっと身近に”をキーワードにステージやブースを構成、当社が提唱する「ComuColor.™」(コミュカラー)によるフルカラープリントソリューションの魅力と可能性を広く伝える発表会となりました。



毎分105枚の印刷スピードと1枚2.5円の低ランニングコストを実現する「ORPHIS HC5000」

ブライダル向けWebサービス 「セレブライド」をスタート

理想科学は、本年1月より、ブライダルマーケット向けの新しいWebサービス「セレブライド」を開始しました。

「セレブライド」は、新郎新婦が作成・公開したホームペ



新Webサービス「セレブライド」

ージを媒体として、新郎新婦と親戚や友人・知人との双方向のWebコミュニケーションを演出するサービスです。ブライダルに彩りをそえ、思い出をかたちに残せるコミュニケーションサイトとして、利用者の“ありがとう”と“おめでとう”の気持ちをつなぎます。

◆「セレブライド」の概要紹介サイト

<http://www.riso.co.jp/wedding/>

紙折り作業を容易にする「折り姫」を新発売

理想科学は、本年1月、紙折り作業が容易な卓上型簡易紙折機「折り姫AF-03」を新発売しました。

本製品は、“小型軽量・簡単操作・お手頃価格”をキーワードとする卓上事務機器「プチファクトリー」シリーズの第一弾です。A4判・内3つ折り専用の紙折機で、手作業では位置合わせが難しい内3つ折りを簡単に仕上げることができます。また、コンパクトで軽量なので、作業場所にあわせて自由に持ち運ぶことができます。

当社では、今後も「プチファクトリー」シリーズを充実させていきたいと考えています。



手軽に内3つ折りができる
A4専用簡易紙折機「折り姫AF-03」

2004日本ホビーショーで “プリントゴッコ手づくりワールド”をアピール

理想科学は、5月13日～15日の3日間、東京ビッグサイトで開催された「第28回2004日本ホビーショー」(主催：(社)日本ホビー協会)に出展しました。

日本ホビーショーは、最新の手づくり製品などのあらゆるホビーグッズを一堂に集めた日本最大のフェアです。当社は、“プリントゴッコ手づくりワールド”をテーマに掲げ、「プリントゴッコjet V-10」によるオリジナルカードづくりや、手のひらサイズの“ちびTシャツ”を使った布印刷など、手づくりの楽しみが体験できるコーナーを数多く設置。これらを通じて、豊かな手づくりの世界を多くの方に体験していただきました。

主催の(社)日本ホビー協会では、ホビーライフの向上と業界の発展に貢献した企業を対象に、毎年「ホビー産業大賞」を選定しています。本年度の「第4回ホビー産業大賞経済産業大臣賞」には当社子会社の理想ベックが「プリントゴッコjet V-10」で選ばれ、今回の2004日本ホビーショーの特設ギャラリーに展示されました。



東京ビッグサイトで行われた
「2004日本ホビーショー」(平成16年5月)

経営実績—当期の概況

当期の当社グループは、販売力強化・コストダウン・新規開発の推進を重点課題として運営してまいりました。

国内では、オリンパス株式会社と共同開発したインクジェット方式による高速フルカラープリンター「ORPHIS HC5000」、次世代のプリントゴッコ「プリントゴッコ jet V-10」、A4専用簡易紙折機「折り姫AF-03」等新製品を発売いたしました。また、環境問題への取り組みも積極的に進め、カラーインクについても植物性油脂(大豆油)を用いたリソグラフ用インク「RISO SOYインク」(全65色)を品揃えいたしました。

海外では、新興成長市場向け低価格印刷機の新機種「RISO KS600」を発売。また、一体型同時2色印刷機「RISO V8000」の拡販に努めました。

製造部門では、印刷機の今後更なる低コスト生産体制構築を視野に入れ、理想工業(香港)有限公司を設立しました。

以上のような活動の結果、当期の連結売上高は836億6千6百万円(前期比1.5%増)となりました。なお、当期より不動産賃貸による収入を売上計上しております。

当期の販売実績を地域別に見ますと、国内では印刷機本体及びサブライ販売が好調に推移し、売上高は424億3千万円(前期比3.5%増)となりました。

米州では、ドル安の影響を受け売上高は140億5千6百万円(前期比5.5%減)となりましたが、印刷機本体の売上が前年度を上回るなど直販力強化が奏功し、現地通貨ベースでは増収となっています。

欧州では、ユーロ高の影響もあり売上高は161億4千5百万円(前期比7.3%増)となりました。しかしながら現地販売会社から近隣諸国への輸出がふるわず、現地通貨ベースでは減収となっています。

アジアでは、東南アジア市場は順調に推移いたしました。中国市場は競争激化の影響を受け当初計画を下回り、売上高は110億3千3百万円(前期比4.1%減)となりました。

また連結の利益面では、中国での印刷機の生産本格化による原価低減や諸経費圧縮に努め、営業利益は83億5千3百万円(前期比20.7%増)となりました。また営業外費用として、為替差損5億6千9百万円、オリンパス株式会社との合併会社の初期投資費用6億5千2百万円を持分法による投資損失として計上した結果、経常利益は66億8千万円(前期比0.9%増)、当期純利益は36億4百万円(前期比15.4%増)となりました。

当期の配当金は、1株当たり5円増配し60円とさせていただきます。

次期の見通し

当社グループは、新中期経営計画「Riso Vision 07」(P2参照)に沿って事業に全力で取り組む所存です。

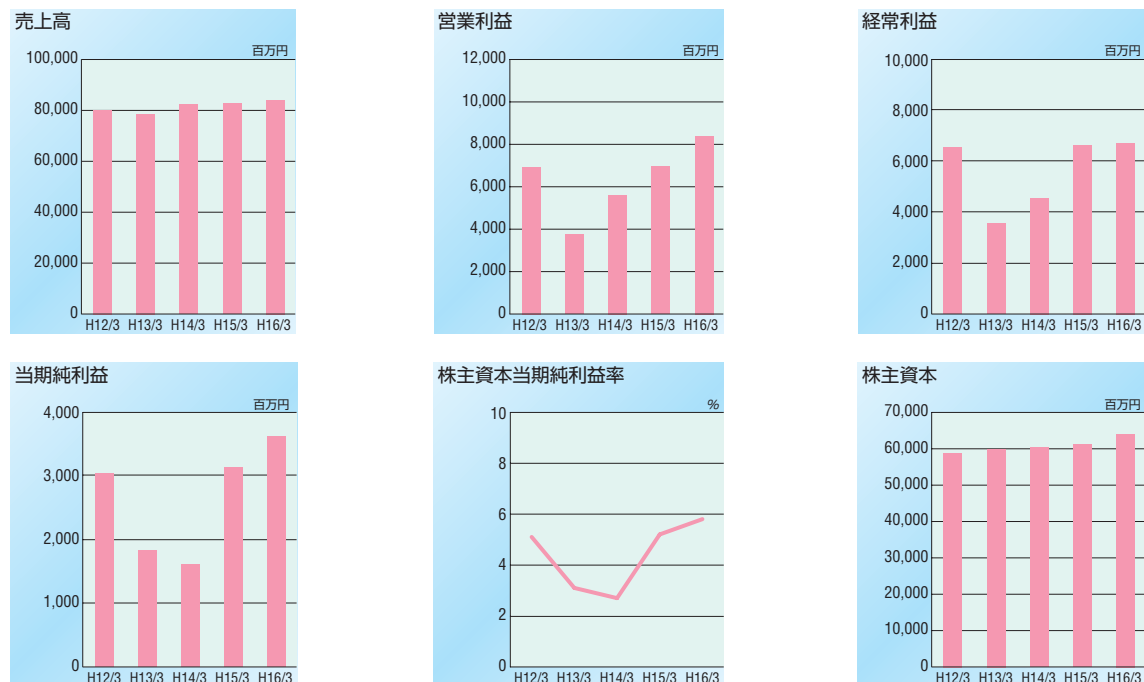
国内では、「ORPHIS HC5000」の拡販による売上増加を想定しております。

海外は、米州では販路の安定強化による業績の向上を見込んでおります。欧州では直販力を継続して強化していくことにより増収になるものと考えております。アジアでは印刷機本体の拡販による売上増加を想定しております。

次期の連結業績見通しは、売上高879億円(前期比5.1%増)、経常利益61億3千万円(前期比8.2%減)、当期純利益36億8千万円(前期比2.1%増)を予定しております。

なお、次期業績見通しにおける為替レートは、米ドル110円、ユーロ128円を前提としています。

業績ハイライト(連結)



| | | 平成12年3月期 | 平成13年3月期 | 平成14年3月期 | 平成15年3月期 | 平成16年3月期 |
|------------|-------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 売上高 | (百万円) | 79,771 | 78,264 | 81,906 | 82,414 | 83,666 |
| 営業利益 | (百万円) | 6,906 | 3,749 | 5,595 | 6,918 | 8,353 |
| 経常利益 | (百万円) | 6,507 | 3,543 | 4,538 | 6,619 | 6,680 |
| 当期純利益 | (百万円) | 3,025 | 1,828 | 1,595 | 3,124 | 3,604 |
| 株主資本当期純利益率 | (%) | 5.1 | 3.1 | 2.7 | 5.2 | 5.8 |
| 株主資本 | (百万円) | 58,533 | 59,631 | 59,983 | 60,905 | 63,732 |

財務諸表の概要 (連結)

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
この財務諸表は、主要な項目を表示しております。

貸借対照表

(資産の部) (単位：百万円)

| 科目 | 当期 | | 前期 |
|-----------|------------|------------|----|
| | 平成16年3月31日 | 平成15年3月31日 | |
| 流動資産 | 64,070 | 68,052 | |
| 現金及び預金 | 30,377 | 35,051 | |
| 受取手形及び売掛金 | 16,153 | 16,822 | |
| 有価証券 | 2,799 | 300 | |
| たな卸資産 | 11,303 | 12,096 | |
| その他 | 4,287 | 4,697 | |
| 貸倒引当金 | △851 | △916 | |
| 固定資産 | 43,303 | 40,676 | |
| 有形固定資産 | 32,758 | 30,239 | |
| 建物及び構築物 | 8,934 | 5,703 | |
| 機械装置及び運搬具 | 1,916 | 1,858 | |
| 土地 | 14,899 | 14,898 | |
| その他 | 7,008 | 7,779 | |
| 無形固定資産 | 1,885 | 1,894 | |
| ソフトウェア | 1,163 | 1,135 | |
| その他 | 721 | 758 | |
| 投資その他の資産 | 8,659 | 8,543 | |
| 投資有価証券 | 3,375 | 2,517 | |
| その他 | 5,567 | 6,299 | |
| 貸倒引当金 | △283 | △273 | |
| 資産合計 | 107,374 | 108,728 | |

(注) 有形固定資産の減価償却累計額35,125百万円

POINT 1

現金及び預金・建物及び構築物
新大阪と表参道に当社ビルを建設
いたしました。

(負債の部) (単位：百万円)

| 科目 | 当期 | | 前期 |
|---------------|------------|------------|----|
| | 平成16年3月31日 | 平成15年3月31日 | |
| 流動負債 | 22,925 | 27,008 | |
| 支払手形及び買掛金 | 10,347 | 11,085 | |
| 短期借入金 | 4,799 | 7,997 | |
| 一年内返済予定の長期借入金 | 67 | 63 | |
| その他 | 7,711 | 7,861 | |
| 固定負債 | 20,589 | 20,674 | |
| 転換社債 | 16,915 | 17,084 | |
| 長期借入金 | 260 | 272 | |
| その他 | 3,414 | 3,318 | |
| 負債合計 | 43,515 | 47,683 | |
| 少数株主持分 | 126 | 139 | |

(資本の部) (単位：百万円)

| 科目 | 当期 | | 前期 |
|-----------------|------------|------------|----|
| | 平成16年3月31日 | 平成15年3月31日 | |
| 資本金 | 14,114 | 14,114 | |
| 資本剰余金 | 14,779 | 14,779 | |
| 利益剰余金 | 36,673 | 33,864 | |
| その他有価証券評価差額金 | 730 | △69 | |
| 為替換算調整勘定 | △1,163 | △381 | |
| 自己株式 | △1,402 | △1,402 | |
| 資本合計 | 63,732 | 60,905 | |
| 負債、少数株主持分及び資本合計 | 107,374 | 108,728 | |

POINT 2

現金及び預金・短期借入金
子会社が銀行からの借入金を返済
しました。

■ 損益計算書

(単位：百万円)

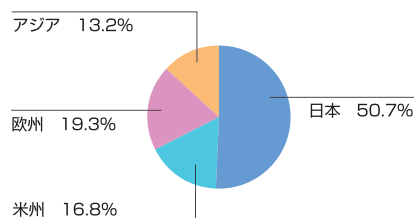
| 科目 | 当期 | | 前期 |
|--------------------|--------------------------|--------------------------|----|
| | 平成15年4月1日～ 平成16年3月31日 | 平成14年4月1日～ 平成15年3月31日 | |
| 売上高 | 83,666 | 82,414 | |
| 売上原価 | 36,538 | 38,294 | |
| 売上総利益 | 47,128 | 44,119 | |
| 販売費及び一般管理費 | 38,774 | 37,201 | |
| 営業利益 | 8,353 | 6,918 | |
| 営業外収益 | 525 | 736 | |
| 営業外費用 | 2,198 | 1,036 | |
| 経常利益 | 6,680 | 6,619 | |
| 特別利益 | — | — | |
| 特別損失 | — | 890 | |
| 税金等調整前当期純利益 | 6,680 | 5,728 | |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,423 | 3,459 | |
| 法人税等調整額 | 646 | △843 | |
| 少数株主損益 | 5 | △12 | |
| 当期純利益 | 3,604 | 3,124 | |

■ キャッシュ・フロー計算書

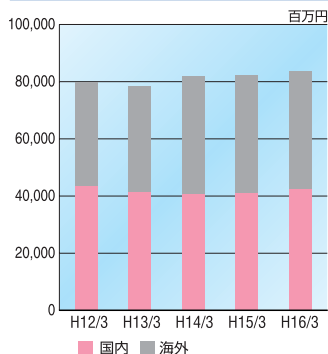
(単位：百万円)

| 科目 | 当期 | | 前期 |
|--------------------|--------------------------|--------------------------|----|
| | 平成15年4月1日～ 平成16年3月31日 | 平成14年4月1日～ 平成15年3月31日 | |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 6,587 | 1,892 | |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △5,979 | 2,465 | |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △3,541 | △1,615 | |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △239 | △190 | |
| 現金及び現金同等物の(減少額)増加額 | △3,173 | 2,551 | |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 35,006 | 32,454 | |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 31,832 | 35,006 | |

地域別売上高比率



国内・海外売上高



(単位：百万円)

| | H12/3 | H13/3 | H14/3 | H15/3 | H16/3 |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 売上高計 | 79,771 | 78,264 | 81,906 | 82,414 | 83,666 |
| 国内 | 43,516 | 41,363 | 40,596 | 40,978 | 42,430 |
| 海外 | 36,254 | 36,900 | 41,310 | 41,436 | 41,235 |

POINT 3

売上原価

中国生産によるコストダウンや為替影響により改善しました。

POINT 4

営業外費用

持分法による投資損失6億5千2百万円と為替差損5億6千9百万円を計上しました。

財務諸表の概要 (単独)

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
この財務諸表は、主要な項目を表示しております。

貸借対照表

(資産の部)

(単位：百万円)

| 科目 | 当期 | | 前期 |
|---------|------------|------------|------------|
| | 平成16年3月31日 | 平成15年3月31日 | 平成15年3月31日 |
| 流動資産 | 49,335 | 53,061 | |
| 現金及び預金 | 25,955 | 31,911 | |
| 受取手形 | 1,203 | 1,214 | |
| 売掛金 | 11,732 | 12,678 | |
| 有価証券 | 2,799 | 300 | |
| たな卸資産 | 4,981 | 5,111 | |
| その他 | 2,701 | 1,876 | |
| 貸倒引当金 | △ 38 | △ 31 | |
| 固定資産 | 53,713 | 47,092 | |
| 有形固定資産 | 30,765 | 28,368 | |
| 建物及び構築物 | 8,840 | 5,656 | |
| 土地 | 14,899 | 14,898 | |
| その他 | 7,026 | 7,814 | |
| 無形固定資産 | 1,183 | 1,151 | |
| 投資等 | 21,764 | 17,572 | |
| 投資有価証券 | 3,375 | 2,517 | |
| 子会社株式 | 9,876 | 6,413 | |
| その他 | 8,715 | 8,828 | |
| 貸倒引当金 | △203 | △186 | |
| 資産合計 | 103,048 | 100,153 | |

(負債の部)

(単位：百万円)

| 科目 | 当期 | | 前期 |
|---------------|------------|------------|------------|
| | 平成16年3月31日 | 平成15年3月31日 | 平成15年3月31日 |
| 流動負債 | 16,307 | 16,792 | |
| 支払手形 | 2,410 | 3,493 | |
| 買掛金 | 7,886 | 7,110 | |
| 一年内返済予定の長期借入金 | 7 | 5 | |
| その他 | 6,003 | 6,183 | |
| 固定負債 | 20,135 | 20,371 | |
| 転換社債 | 16,915 | 17,084 | |
| 長期借入金 | 151 | 126 | |
| その他 | 3,068 | 3,161 | |
| 負債合計 | 36,442 | 37,164 | |

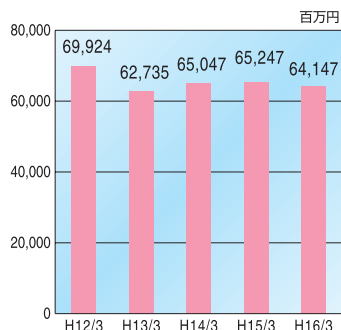
(資本の部)

(単位：百万円)

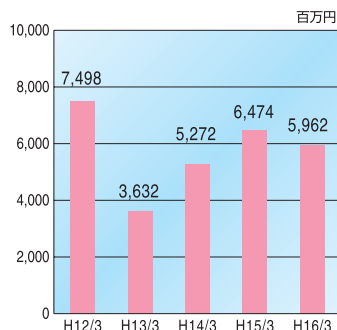
| 科目 | 当期 | | 前期 |
|--------------|------------|------------|------------|
| | 平成16年3月31日 | 平成15年3月31日 | 平成15年3月31日 |
| 資本金 | 14,114 | 14,114 | |
| 資本剰余金 | 14,779 | 14,779 | |
| 利益剰余金 | 38,383 | 35,567 | |
| (うち当期純利益) | (3,612) | (3,070) | |
| その他有価証券評価差額金 | 730 | △ 69 | |
| 自己株式 | △1,402 | △1,402 | |
| 資本合計 | 66,606 | 62,989 | |
| 負債及び資本合計 | 103,048 | 100,153 | |

(注) 有形固定資産の減価償却累計額32,709百万円

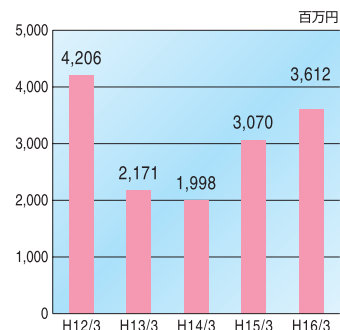
売上高



経常利益



当期純利益



■ 損益計算書

(単位：百万円)

| 科目 | 当期 | | 前期 |
|-----------------|--------------------------|--------------------------|----|
| | 平成15年4月1日～ 平成16年3月31日 | 平成14年4月1日～ 平成15年3月31日 | |
| 売上高 | 64,147 | 65,247 | |
| 売上原価 | 33,020 | 34,844 | |
| 売上総利益 | 31,126 | 30,403 | |
| 販売費及び一般管理費 | 24,619 | 23,474 | |
| 営業利益 | 6,507 | 6,929 | |
| 営業外収益 | 384 | 389 | |
| 営業外費用 | 929 | 844 | |
| 経常利益 | 5,962 | 6,474 | |
| 特別利益 | — | — | |
| 特別損失 | 190 | 890 | |
| 税引前当期純利益 | 5,772 | 5,583 | |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,109 | 3,253 | |
| 法人税等調整額 | 50 | △740 | |
| 当期純利益 | 3,612 | 3,070 | |
| 前期繰越利益 | 3,539 | 3,761 | |
| 利益による自己株式消却額 | — | 1,496 | |
| 当期末処分利益 | 7,152 | 5,335 | |

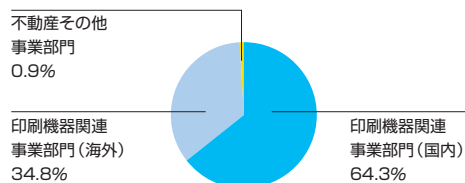
■ 利益処分

(単位：百万円)

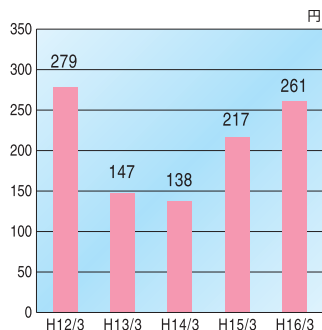
| 科目 | 当期 | | 前期 |
|---------|----------|----------|----|
| | 平成16年3月期 | 平成15年3月期 | |
| 当期末処分利益 | 7,152 | 5,335 | |
| 利益配当金 | 813 | 745 | |
| 取締役賞与金 | 62 | 50 | |
| 別途積立金 | 2,500 | 1,000 | |
| 次期繰越利益 | 3,776 | 3,539 | |

(注) 利益配当金は、自己株式468,499株分を除いております。

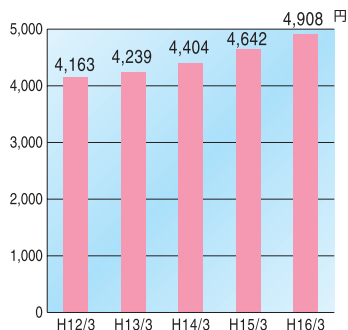
売上高構成比率



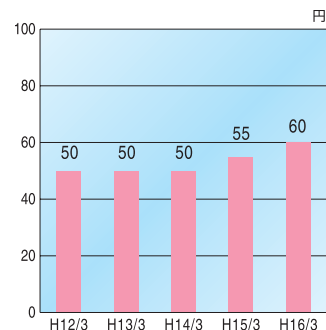
1株当たり当期純利益



1株当たり株主資本



1株当たり配当金



国内

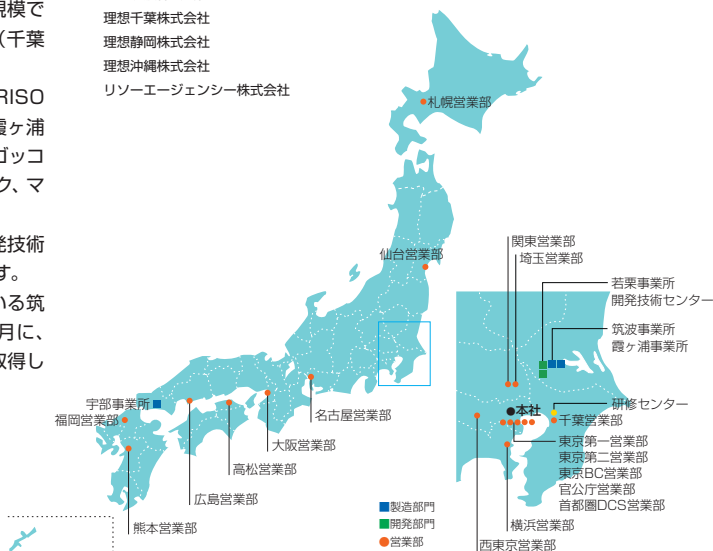
当社の販売ネットワークは18営業部41支店、および販売子会社を中心に構成されています。また、当社製品を安心してご利用いただくために、技術サポートや消耗品の供給体制も全国規模で展開しております。技術スタッフの育成は、研修センター(千葉県)を中心に全国で行われています。

国内の製造拠点は3カ所あります。筑波工場(茨城県)はRISOプリンター、リソグラフのハードウェアを生産しています。霞ヶ浦工場(茨城県)はリソグラフのインク、マスターとプリントゴッコを生産しています。宇部工場(山口県)はリソグラフのインク、マスターのうち量産品種の生産を受け持っています。

当社の開発部門は本社のほか、茨城県に若栗事業所と開発技術センターがあり、次代のRISO製品の開発に取り組んでいます。

開発技術センターと筑波工場・出荷センターで構成している筑波事業所は、平成12年12月に、宇部事業所は平成13年8月に、国際環境マネジメントシステム規格ISO 14001の認証を取得しました。

- ◆国内の主な子会社
- 株式会社理想ベック
 - 理想筑波株式会社
 - 理想千葉株式会社
 - 理想静岡株式会社
 - 理想沖縄株式会社
 - リゾーエージェンシー株式会社



本社



若栗事業所



霞ヶ浦事業所



開発技術センター
平成12年、ISO14001認証取得



筑波事業所
平成12年、ISO14001認証取得
平成15年、ISO9001:2000認証取得



研修センター



宇部事業所
平成13年、ISO14001認証取得

海外

当社は17の海外子会社を中心に、リソグラフの販売やマーケティング、技術サポートや消耗品の供給を行っています。また、中国・広東省の珠海工場では、リソグラフハードウェアの生産を行っています。RISOグループ3,000名以上のスタッフが、さまざまな国の人々とのコミュニケーションを大切に、多くのお客様をサポートしています。



● 海外の主な子会社

RISO, INC.
RISO CANADA, INC.
The Corporation of RISO de Mexico, S.A. de C.V.
RISO EUROPE LTD.
RISO (U.K.) LTD.
RISO (Deutschland) GmbH
RISO POLAND Sp. z o.o.
RISO FRANCE S.A.
RISO IBERICA, S.A.
RISOGRAPH ITALIA, S.p.A.
RISO AFRICA (PTY) LTD.
RISO HONG KONG LTD.
RISO (Thailand) LTD.
RISO (SHANGHAI) INTERNATIONAL TRADING CO., LTD.
RISO TECHNOLOGY ZHUHAI CO., LTD.
RISO KOREA LTD.
RISO Industry Hong Kong Ltd.



RISO, INC.
(アメリカ・ボストン)



RISO (Deutschland) GmbH
(ドイツ・ハンブルグ)



RISO (Thailand) LTD.
(タイ・バンコク)



RISO EUROPE LTD.
(イギリス・ロンドン)



RISO FRANCE S.A.
(フランス・リヨン)

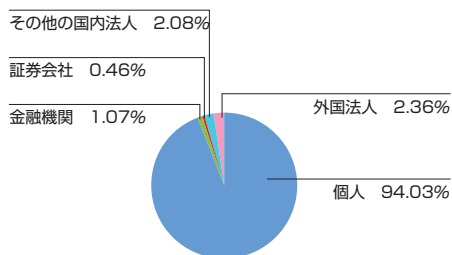


RISO TECHNOLOGY ZHUHAI CO., LTD.
珠海工場 (中国・珠海)

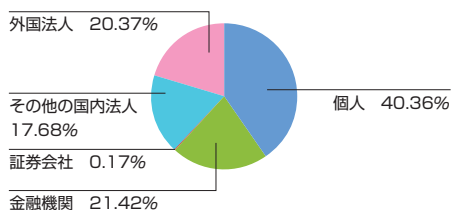
株式の状況 (平成16年3月31日現在)

| | |
|----------------|-----------------------------|
| ■ 会社が発行する株式の総数 | 33,920,000株 (前期末比増減なし) |
| ■ 発行済株式総数 | 14,026,500株 (前期末比増減なし) |
| ■ 株主数 | 2,796名 (平成15年3月末比606名減少) |

■ 株主数比率



■ 株式数比率



■ 大株主一覧 (上位10人)

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率 (%) |
|--------------------------|---------|----------|
| ノーザントラストカンパニー (エイブイエフシー) | | |
| サブアカウントアメリカンクライアント | 1,351 | 9.63 |
| 有限会社理想社 | 1,235 | 8.80 |
| 羽山 昇 | 804 | 5.73 |
| 日本マスタートラスト | | |
| 信託銀行株式会社 (信託口) | 697 | 4.96 |
| 財団法人理想教育財団 | 665 | 4.74 |
| 理想科学工業株式会社 | 468 | 3.34 |
| 日本トラスティ・サービス | | |
| 信託銀行株式会社 (信託口) | 404 | 2.88 |
| 株式会社東京都民銀行 | 391 | 2.79 |
| 理想科学工業従業員持株会 | 372 | 2.65 |
| 羽山 昭子 | 352 | 2.51 |

■ 自己株式の取得について

商法第210条の規定に基づき、平成15年6月27日開催の定時株主総会において、次期定時株主総会までに、当社普通株式30万株、取得価額の総額15億円を限度として自己株式を取得することについて承認可決されました。

◎平成16年3月31日までに自己株式の取得は実施しておりません。

会社概要

- 商号 理想科学工業株式会社
- 本社 〒105-0004 東京都港区新橋2丁目20番15号
新橋駅前ビル1号館（登記上）
- 連絡先 〒108-8385 東京都港区芝5丁目34番7号
田町センタービル
- 創業 昭和21年(1946年)9月2日
- 会社設立 昭和30年(1955年)1月25日
- 資本金 14,114,488,048円 (平成16年3月31日現在)
- 従業員数 1,538名 (平成16年3月31日現在)
- 連結子会社 27社(国内8社 海外19社)(平成16年3月31日現在)
- 役員
代表取締役社長 羽山 明
専務取締役 野見山誠一
専務取締役 黒岩 経成
専務取締役 河合 伸雄
取締役 酒井 純司
取締役 竹内 佳郎
取締役 高橋 靖宏
取締役 斎田 知男
取締役 波田 祥吾
取締役 尾形 純一
常勤監査役 吉原 和子
監査役 *村上 愛三
監査役 *鈴木 瀧夫

(平成16年6月25日現在)

- (注) *印は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役です。

■ 株主インフォメーション ■

株主の皆様用の諸手続きに関する情報が、フリーダイヤルやホームページから24時間入手できます

当社の株式事務を取り扱っております中央三井信託銀行では、株主の皆様の住所変更、配当金振込などの用紙のご請求を、電話およびインターネットのホームページで24時間受付しております。ぜひご利用ください。

● 電話による用紙のご請求

受付フリーダイヤル：0120-87-2031

(操作の方法は、音声案内に従ってください)

- ご請求できる用紙（4種類）

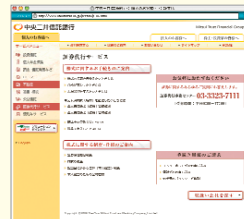
住所変更届 名義書換請求書
単元未満株式買取請求書 配当金振込指定書

● インターネットでも用紙のご請求を受付けております

ホームページアドレス：

http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます)



※保管振替制度をご利用されている方は、お取引のある証券会社へのお届けとなります

● お問い合わせ先

中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
TEL 03(3323)7111 (代表)

◆今後の見通しに関する注意事項

本資料における業績予想および将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

| | |
|--------------|---|
| 決算期日 | 毎年3月31日 |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 基準日 | 毎年3月31日 |
| | そのほか必要があるときには、あらかじめ公告する一定の日 |
| 利益配当金支払株主確定日 | 3月31日 |
| 中間配当金支払株主確定日 | 9月30日（中間配当をする場合） |
| 名義書換代理人 | 中央三井信託銀行株式会社 〒105-8574 東京都港区芝三丁目33番1号 |
| 同事務取扱所 | 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話(03)3323-7111(代表) |
| 同取次所 | 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本支店 |
| 銘柄コード | 6413 |
| 名義書換手数料 | 無料 |
| 新株券交付手数料 | 新株券1枚につき印紙税相当額（ただし、満欄による場合は無料） |
| 公告掲載新聞 | 東京都において発行する日本経済新聞 なお、貸借対照表および損益計算書を決算公告に代えて、ホームページに掲載することといたしました。 当社のホームページアドレスは次のとおりです。 http://www.riso.co.jp/kessan/ |
| 理想科学株主様窓口 | 理想科学工業株式会社 総務部 〒108-8385 東京都港区芝5丁目34番7号 田町センタービル 電話03(5441)6611 |

● お知らせ ●

株券失効制度について

株主様が所有の株券を紛失された場合、これまでは裁判所にて公示催告と除権判決というお手続きでしたが、今後は、当社の名義書換代理人である中央三井信託銀行に対して紛失株券を失効するための「株券喪失登録」を申請し、1年間異議申出が無ければ株券を再発行できることとなりました。詳しくは、中央三井信託銀行証券代行部までお問い合わせください。

単元未満株式の買増制度について

当社定款規定の変更により「単元未満株式の買増制度」を導入いたしました。1単元(100株)に満たない株式を所有されている株主様で、買増しをご希望される方は中央三井信託銀行証券代行部までお問い合わせください。また、保管振替制度ご利用の株主様は、お取引のある証券会社へお問い合わせください。

● お問い合わせ先

中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
TEL 03(3323)7111(代表)

インターネットで当社に関する情報がご覧いただけます。

ホームページアドレス

<http://www.riso.co.jp/>

 理想科学工業株式会社

本社 / 〒108-8385 東京都港区芝5丁目34番7号 田町センタービル



本事業報告書は、環境にやさしい大豆インキと、再生紙を使用しております。